

# ごうぐら瓦版

## いあいさつ

江戸時代に建てられた郷倉と番屋が、そろって良好な状態で現存しているのは、全国的にも珍しいと言われております。

瀬名郷倉保存会は、この貴重な文化財である郷倉と番屋の維持保全をはかり、あわせて一人でも多くの皆様に存在を広める活動を行っております。また、建物内には古民具・道具・農具を保管、展示しております。

なお、この会は西奈学区自治会連合会の助成金と静岡市の文化財保護活動補助金で運営されています。この主旨に賛同される方の入会を歓迎いたします。

また、この度「ごうぐら瓦版」を発行すること

になりました。年3回を目標に、皆様に親しまれるような紙面づくりを目指したいと思えます。よろしくお願いいたします。

## 郷倉の展示を刷新

土間中央にオーブンスペースを設けました。収蔵品だった「みちいた途板」から、長テーパーと長椅子、そして出入り口のスロープにリメイク。

わかりやすい、見やすい展示を心掛けました。どれも、ご自由に手に取って、動かすことができます。

郷倉は高い天井と、土間、土壁からなっておりますので、夏は涼しく、冬は暖房がないにもかかわらず、暖かく感じます。「ここにいと、ほっと

ごうぐら瓦版(1号)

発行日

2021年 3月10日

発行元

郷倉保存会事務局

〒420-0911

静岡県静岡市葵区

瀬名 3丁目18

電話 (伊久美)

054-263-9259

ホームページ

[https://gougu](https://gougu.ral.jimdo.free.com/)

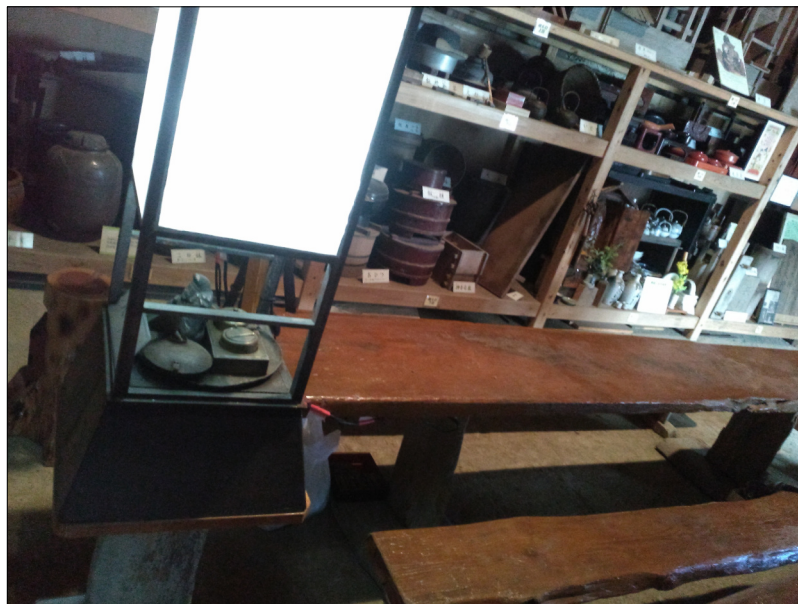
[ra.jimdo.free](https://gougu.ral.jimdo.free.com/)

[.com/](https://gougu.ral.jimdo.free.com/)

QRコードは

ホームページに

リンクします。



するね」という感想を、よく伺います。コロナ禍が終息した後、ワークショップの開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。

詳細については、ホームページやチラシでお知らせします。(写真上)ご自分で漉いた和紙で張り替えて寄贈された行灯(写真下) 昨年寄贈された大人車

毎日の生活を豊かにするために  
遺された民具をとおして  
古人の心とその生活の知恵を知ろう



**郷倉と番屋の  
公開日  
毎月第二土曜日  
9:30~12:00**

特別追加公開

3月20日(土) 27日(土)

4月3日(土) 10日(土)

# 長持のリメイク 家具を展示

郷倉の隣にある番屋で、リメイク家具を展示中（4月10日まで）。リメイクを手掛けたのは、常葉大学造形学部4年の鈴木茜さんです。（写真）



長持をリメイクしたソファ

郷倉には、七棹の長持が収納されていました。保管スペースがなくなり、いくつかをなんらかの形で処分することになりました。リユースを呼びかけたところ、鈴木さんが卒業制作に使いたいと、昨夏長持をとり来られました。まさに死蔵状態だった長持が、こんな素

晴らしい家具にリメイクされ、更に、この家具

を引き取ってくださいる方も決まりました。実際にソファに腰掛け、使い勝手を体験していただきたいと思います。なお、郷倉にはお譲りできる長持が、まだ二棹残っております。ご希望の方にお譲りしますので、当会までご連絡下さい。ソファの真ん中のクッションをはずすと、小テーブルが現れ、両サイドのクッションをはずすと、下は収納スペースになっています。長持の引手金具もそのまま、うまく利用されています。



長持の蓋をリメイクしたラック↑



## 長持とは

ながもち 長持は衣類や寝具の収納に使われた木箱です。花嫁道具の代表格で、長持の両脇にある金具に棹を通して、二人で担いで運びました。箆筒、長持担ぎの唄として、「長持唄」が全国各地に伝わっています。郷倉には他にも、下に車のついた「車長持」も一棹あります。  
※左の写真は府中木工資料館のサイトより転載させて頂きました。



左は、郷倉の車長持 長さ156、高さ110、巾72 (cm)。中には、掻巻かいまきが収められています。右は、郷倉の長持五棹。赤や黒の漆を塗ったもの等、材質は桐がほとんどです。

